

# 山根りゅうじ氏出馬とりやめ 川越市長選挙

川越をガラッと変えるというスローガンのもと政治活動を展開し、来年1月15日告示の川越市長選挙に準備をすすめていた元参議院議員 外務副大臣の山根隆治氏が健康上の理由により出馬を断念した。

8万件、9万件と一軒一軒足で歩き、自分の主張を述べてきた山根氏だ、無念であろう。

これにより川合よしあき現職市長が唯一の候補であるが、共産党の動きもあり、また現職県議渋谷實氏の去就も注目されている。しかし、自民党埼玉県連から現職の川合よしあき氏は推薦されている。渋谷氏は自民党川越支部の支部長、自ら推薦を出す立場で、対抗するという事は党紀に触れる可能性もある。離党、出馬なのか、今川越は前哨戦まっただなかだ。

あわせて欠員の生じた川越市議会補欠選挙。いち早く親子行脚で市内を歩く栗原みつはる氏。栗原みつはる氏は長い間市自治連合会の会長を務める栗原博司氏の子息だ。その他共産党など3～4名の動きも。立候補者数46名という選ぶこと自体が難しい本選挙と違い、候補者を選ぶ基準が明白でこちらも注目したい。中核都市35万都市川越。風格のあるまちづくりのリーダー・市長と一翼を担う議員の選挙だ。賢く選んでいきたいものだ。

伊勢谷 珠子